

埼玉立命

■編集人
「埼玉立命」広報委員会
■発行人
常田 幸正
■発行所
〒350-1105
埼玉県川越市今成2-8-3
TEL.049(224)6535
FAX.049(224)7135

会長挨拶 私の視点を訴える!

みなさん、お変わりなくお過ごしのことと思います。今年の夏は観測史上最高の41度を記録した高知をはじめとして日本列島全体が猛暑に見舞われました。また、豪雨に襲われて大災害を受けられた地域もあり、関係の深い校友もおられることと思います。心からお見舞い申し上げます。この号がお手元に届くころには夏の疲れも回復し、みなさんは元気な日常を取り戻しておられることでしょう。

さて、私が立命館大学埼玉県校友会会長をお引き受けして早7年になりました。大学の発展とともに先輩から引き継いだ校友会を更に活力のあるものにしていこうと理想に燃えて計画を練ったのですが、力及ばず本意な姿で推移しております。この間、情報革命の進展、グローバル化、少子高齢化などによる時代の変化は予想以上に進んでいます。大学のサバイバルもなお一層激しいものになるでしょう。

幸い立命館大学は他大学に先駆けていち早く改革に取り組み成功への道を歩みました。これからはさらに質を高め、時代の要請を受けて真に生き残ることです。校友としては母校の誉れが高ければ誇れる気持ちにもなり心も癒やされます。その支援として卒業生の活躍と絆が大きな役割を果たします。そのような観点から私は早い段階に世代交代を図り、校友会も若い世代で試行錯誤を重ね、時代に合った校友会のあり方を考えて欲しいと願っています。私の体験からの視点でひと言申しあげると、関東における校友会のあり方、組織の在り方を抜本的に検討することが必要ではないかと思っております。力強い関東の校友会を組織できれば、立命館のイメージ強化や卒業生の就職戦線にも大きな影響力を持つことが出来ると確信しています。その改革の中で趣味のような集まりの校友会を派生させ



埼玉県校友会
会長
常田 幸正
(1961・文)

て支える仕組みを作るのは如何でしょうか。まずは大学本部が大きく関与した戦略的組織の構築を訴えたいと思います。みなさんの積極的な関心とご意見を伺いたいところです。

最後になりましたが、会社オンリー、地域オンリーだけでない何本もの道を歩み、校友会にも参加してエネルギーを高めましょう。みなさんのご健勝を心から祈っております。



FAX 送信票

第24回総会・懇親会

彩の国・校友の集い

2013年11月9日(土)

総会:12時~13時 懇親会:13時~

会場 銀座アスター川口賓館

(JR川口駅下車 徒歩1分)
埼玉県川口市川口3-1-1川口総合文化センターリリア14F

会費 7,000円

(2009年度以降の卒業生は5,000円)
※会費は当日お支払いください。

申込み方法

出席を希望される方は以下のいずれかの方法よりお申し込みください。

- ①埼玉立命ホームページ「参加申し込み」のページから申し込む。
- ②以下に必要事項を記入し、立命館大学東京キャンパスまでFAXする。

※必要事項をご記入のうえ、10月26日までにお送りください。

FAX送信先: 03-5224-8189 (立命館大学東京キャンパス)

○彩の国・校友の集いに

(いずれかに○をつけてください。)

出席 ・ 欠席

氏名	(旧姓)		
現住所 〒			
TEL:	E-mail:		
卒業年次 西暦	年卒	学部	科
勤務先名称			
現在地 〒			
部課(役職)			

ご近況について、また校友会・会報へのご意見・ご要望をお聞かせください。

◆「オール立命館校友大会2012in新潟」

緒方 仁 (1969・経営)



▲朱鷺メッセにて集合写真

10月6日朝7時半に、JR 武蔵野線の新座駅に集合した埼玉県校友35名は大型バスで関越道を休憩もそこそこに、校友大会の会場である朱鷺メッセへ向かいました。途中車内では内野幹事長の司会で埼玉県校友会の総会が開催され、滞りなく議事が進行し、すべての議案が満場一致をもって承認されました。

13時に朱鷺メッセに到着し、そのまま全員がイベント会場に入り、立命館出身の女子アスリート千葉真子さん(マラソン)、武田美保さん(シンクロ)、小島智子さん(チアリーダー)による「夢をかなえるチカラ」をテーマにしたトークセッションを聴きました。アスリートが最後に締めくくったのは「夢は必ずかなえられると信じて、それに向かって頑張してほしい」とのことでした。

聴衆者は校友の他、一般の人も含めて約1,600名だったそうです。

イベント終了後、15時から始まった校

友向けの「レセプション」には全国からの校友900名が出席し、新潟大会の開催に関係した校友会会長による鏡びらきで始まり、立命館校友会本部から現状報告がなされ、また美味しい新潟の銘酒や地元ならではの料理と肴が沢山用意されており、大いに楽しめた校友大会でした。

校友大会終了後、埼玉県校友の35名は宿泊場所である聖籠町の「ホテルぎぶーン」に向かいました。到着後は温泉に入ったり、更にみんなでお酒を囲んだりして1日目の就寝となりました。

2日目の10月7日は埼玉県校友会オリジナルの観光で、朝8時半にホテルを出発して、新潟で由緒ある乙寶寺の観光や岩船港鮮魚センターで買い物した後、村上市の伝統工芸である堆朱の珍しい漆器を見学しました。

村上市を訪れた時、タイミング良く「屏風まつり」が開催されていて、これも見学することができました。伝統ある貴重

な屏風や民具を60数件の町屋がそれぞれ展示し、一般の人に開放することによって、町の活性化を図ろうと、市と町が一丸となって取り組んでいたのはすばらしいことだと思いました。

続いて訪れた塩引き鮭で有名な「喜き川がわ」では、鮭を乾燥させるため天井から所狭しと吊下げられた沢山の鮭が圧巻でした。説明によると鮭は河口から産卵場所へ溯上して行くに従って魚の顔つきが徐々に変わるので、産卵時の鮭はもっとも怖い形相になるそうです。とても興味深い話が聞けたし、現物の鮭を見ると更によく理解できました。

昼食は割烹「千渡里」で美味しい鮭料理を賞味し、その後は酒蔵を見学しました。新潟観光の最後は、校友でもある「北限の茶・北精園本店」の渡辺社長のご自宅を訪問し、美味しい日本茶をいただきました。

翌日ゴルフを予定されている数名の方と別れて、帰宅組のバスは新潟を出発、JR大宮駅に着いたのは夜10時を過ぎていました。最終停車のJR南越谷駅にはかなり遅く着いたのではないかと思います。思い出に残るすばらしい校友大会2012 in 新潟でありました。



▲天井からぶらさがる鮭が圧巻の喜き川がわ



▲埼玉県校友会のテーブル



▲乙寶寺にて



▲北精園前にて

◆ 酒蔵見学会



▲ 清龍酒造前にて

今年の見学先は蓮田にある「清龍酒造」でした。

実はこの清龍酒造、昨年、一昨年と見学候補の一番に上げていたのですが、申込みが一杯で見学できなかった酒蔵なんです。そう、埼玉では大人気の見学コースです。なぜ一番人気かと申しますと…それは今からご説明致します。

当日は蓮田駅に参加者13名が集合し清龍酒造へと向かいました。到着すると当日の試飲会の会費も含め2千円を支払い、雰囲気の良い待合所にて他のグループ見学者の方々と開始時間を待ちます。やがて見学時間となり当日の見学者約40名が集合しますと、前に立っている説明者は、何と清龍酒造の岩崎社長さんでした。この岩崎社長さん、大変軽妙な喋り口調であり、その名調子に見学者全員がどんどん引き込まれて行くんです。事前

説明が終わり、蔵内部の見学を行い約1時間程度でしたでしょうか、和気あいあいと非常に楽しい雰囲気の中で見学が終了しました。

なるほど人気があるわけだと思っております、なんのなんの人気の理由はここから後でした。

試飲会と言うことで、酒造内にある「清水亭」と言う休憩所へ移動します。ここがまた素晴らしい雰囲気の落ち着いた会場であり、我々13名はその中二階の席に案内されました。するとテーブルの上には、お造り、焼き魚、煮物、揚げ物と4種類の料理が準備され、更には日本酒と相性抜群のおつまみが小皿に6種類用意されていました。お酒は食前酒と利き酒用の5種類のグラス、焼酎、そして乾杯用の地ビールです。

お酒好きの皆さんが感嘆の声を上げ、これ以上嬉しそうな顔はないであろうという状態になった時に会場から説明が有ります。「これから次々と色々な種類のお酒をお持ちしますので、グラスの一つは必ず空けておいて下さい。」更に「サービスとして後ほどこのヒラメを捌いて皆様にお配りします。」と巨大なヒラメを手にしての説明がありました。

ここまでサービスされるとなると、もう皆さん大変な喜びようで、乾杯の後大

内野 生朗 (1981・経営)

宴会となりました。宴が進んで行きますと、なんと和服姿のお姉さまが登場し、津軽三味線の生演奏が始まりました。日本酒に津軽三味線、合いますね～素晴らしいです。途中、岩崎社長がお酌のため会場を回っての接待でした。

いや～参りました、これで2千円なんです。今回の酒蔵見学会、全員が大変幸せそうな笑顔で解散して行きました。



▲ 中二階の席より



▲ 津軽三味線の生演奏

◆ ボウリング大会&BBQ

7月20日(土)に埼京線中浦和駅そばの浦和スプリングレーンズにて第4回埼玉立命ボウリング大会が開催されました。総勢13名の参加者のなかで初参加が4名、2009年卒以降が5名と、非常にフレッシュな顔ぶれとなりました。

鹿野内さん(1967法)の始球式で幕を開けた大会は、例年通り2ゲームの合計スコアで順位を競い合うというもの。優勝は上條さん(1983文)、準優勝は初参加の水野さん(1990産社)、3位は内野幹事長(1981経営)。プービー賞には伊佐さん(1987文)、ラッキー7賞には菘崎さん(1980理工)が入賞しました。

ボウリング大会のあとは、近くの別所沼公園内の「別所沼会館ヘリテージ浦和」に場所を移して懇親会と表彰式を兼ねたバーベキューを行いました。ボウリング大会のあとにバーベキューを行うのは初の試みでしたが、広々とした園内のジンギスカンとビールは格別でした。

景品は基本的には加藤のセンスで選んでおり、今年の景品は、水道水から炭酸水が作れる「ソーダストリーム」や電子レンジでご飯が炊ける「シリコンスターマー」など。ゲットした皆さんは非常に喜んでおり、それ以外の方には来年以降のモチベーションになったようです。今

加藤 慎一 (2010・産社)

後もますます盛大な企画にしていければと思います。

なお、今大会の様子はホームページに掲載しています(「過去の行事」ページ内)。ぜひご覧ください。



ボート全日本大学選手権報告

鈴木 泰男 (1969・経営)



本大会に埼玉県校友会協賛を始めては
や7年目を迎えました。

今年は連日猛暑の報道があり、熱中症
が猛威をふるい、応援には大変懸念され
る材料でした。しかし決勝当日の8月25
日は一転して曇天で、つかの間のしのぎ
やすい一日でした。

このような中で、わが校は例年通り、
健闘してくれました。

出場8種目すべて予選をクリアし準決
勝へ、さらに5種目で決勝へ進み、結果
的には女子ダブルスカル3位、男子舵手

なしフォア4位、入賞は男子ダブル
スカル8位、舵手付クォドル6位、
女子舵なしペア8位と昨年(24年度)
入賞以上4種目を上廻りました。

残念ながら、表彰台での校歌は聴
くことができませんでしたが、1種
目(女子ダブルスカル)での表彰式
となりました。因みにこの種目は昨
年全日本ボート選手権(社会人含む)
では、優勝と素晴らしい結果を残して
おります。このメンバーである松岡さん(生
命科学部 四回生)は、『大変残念
です。10月の全日本ではリベン
ジします。』との頼もしい宣言を
してくれました。

試合後には、蕨市民会館にて
恒例のボート部OBおよび埼玉
県校友会共催の激励会を行いました。
これは選手の埼玉への遠
征のねぎらいと試合での慰労、
今後の奮闘を祈念して行います。

父兄選手の交流の機会は、お互いにとっ
て、意義ある会合です。

今の大学選手権男子の部では、日本大
学の独擅場であり、この会合では、打倒
日本大学を目指して、精進努力し、更な
る取り組みをすることを誓いました。

日本大学に勝ち、表彰台でわが校歌を
聞くことがこの会合の目標です。選手及
び関係者の方々のますますのご活躍を期
待しております。8年目には是非達成
を!!

▼激励会にて



ゴルフ大会

榎本 哲郎 (1988・産社)

24年10月20日に栃木県の日光カン
ツリー倶楽部で第3回ゴルフ大会を、25
年3月30日に東松山市の東松山カント
リークラブで第4回ゴルフ大会を開催し
ました。

第3回大会には、15名が参加しました。
男体山もはっきり見える
晩秋のさわやかな天候の
中、名門コースでのゴル
フを満喫しました。優勝
者は地の利が活きたのか、
常田会長でした(前日
に一足早く乗り込まれ、予
行演習もされていたと
か・・・)。



▲第3回日光カンツリー倶楽部にて

第4回大会には11名が参加しました。
小雨がぱらつく曇天ではありましたが、
やはり名門コースだけあり、重厚な林間
コースでプレイを楽しむことができました。
優勝者は松岡副会長だったのですが、
前回優勝者がトロフィーを忘れ、副賞のみ

の表彰になっ
てしまったの
は、立命人ら
しい楽しい出
来事だと思い
ました。

第5回大会
は10月19日
に開催される



▲第4回東松山カントリークラブにて

ことが決定しています。場所ははまだ決定
していませんが、決定次第埼玉立命HP
にて発表いたしますので、校友の皆様の
奮ってのご参加をお待ちしています。

松田 浩章
(1957 理工)

有楽法律会計事務所
<http://www.zen-i.net/yuraku/>
弁護士 西垣 義明
立命館大学東京法曹会 会長(1965 法)

AEE ALL Equipments for Education
代表取締役社長
常田 幸正
(1961 文)

◆ 歴史散歩「行田市を歩く」

上條 比呂志 (1983・文)

平成24年6月2日(土)、映画化された小説「のぼりの城」の舞台である行田市の歴史散歩を行いました。

行田市は、昭和の最盛期には年間8,500万足の足袋の生産を誇る「日本一の足袋のまち」であったこともあり、そこかしこに足袋蔵があることから、まずは、足袋蔵めぐりをしました。

最初に「足袋とくらしの博物館」を訪ね、「時田蔵」「牧禎倉」「忠次郎蔵」等の蔵を見て歩き、そして、主な目的地である忍城に行きました。この忍城は、15世紀後半の室町時代、成田下総守顕泰によって築城され、石田三成の水攻めに耐えた「浮き城」として知られており、御三階櫓や郷土博物館を見て廻りました。

昼は、行田名物の「ゼリーフライ」お



▲忍城前にて

よび「ふらい焼きそば」をかねつき堂で食べました。



▲ふらい焼きそば(左)ゼリーフライ(右)ゼリーという名は「銭」から由来する

その後、水城公園を通り、高源寺に行きました。ここは、忍城水攻めの際に正木丹波守利英が守っていた東南の門の位置に当たり、山門の脇に彼の

墓がありました。

またそこから、さきたま古墳公園に行き、石田三成が忍城水攻めの際に陣を張ったと伝えられる丸墓山古墳他に登り、「金錯銘鉄剣」等が展示された県立さきたま史跡の博物館を見学しました。最後に、車中から「石田堤」を見てJR鴻巣駅で散会となりました。

今回の歴史散歩をしたことにより、行田市の歴史が良く理解でき、小説「のぼりの城」の内容を改めて身近に感じ、その後公開になった映画も、大変興味深く楽しく見ることができました。



▲石田堤碑

◆ 台湾・ベトナムを訪ねて

松岡 直昭 (1966・法)



▲ハノイ工科大学にて

3月初頭、立命の台湾校友会参加と、立命と情報技術者育成プロジェクトを組んだベトナムの名門ハノイ工科大学を視

察する名目で両国を訪ねた。7日間の弥次喜多道中のメンバーは常田会長、橋本副会長、そして筆者である。台湾で驚いたことは賓客に台湾立法院(日本の国会議長)王金平院長が出てきて、約1時間、立命館の輝かしい歴史と将来への期待を雄弁に語ったこと。総勢130名の着席フルコース、2時間近い挨拶にお腹がグーグー心底参った。53名の校友、その後の交流は賑わった。

ハノイ工科大学はプロジェクトが終了した



▲立命館台湾校友会の薛会長(右)

こともあり、立命との関係の濃さはわからなかったが、同じ敷地内に5万名の学生を抱えている風景はすごい。かつてのソ連が寄贈した校舎、アメリカ、ドイツの独立棟、これからの展開に興味津々といったところか。郊外に行っては広大な開発と建設ラッシュ、韓国の攻勢が印象に残った。

台湾では故宮博物院が中国人に占拠されたが如く。通訳の機転で我々はVIP並みに観賞出来た。百聞は一見に如かず、アジアの台頭を目の当たりにした有意義な旅だった。

株式会社 ジャパンホームベーキングスクール 取締役
兼 友会(立命館大学柔道部OB会)会長

橋本 豊英
(1960 経済)

三浦 淳史
(1961 経済)

松岡 直昭
(1966 法)

(一社)日本雑誌広告協会 相談役
(公益財団)広告審査協会 評議員
武蔵カントリークラブ 理事フェロシブ委員長

小玉 秀生
(1968 文)

活動一覽

2013年度 役員名簿
2012年度 埼玉県校友会活動報告
2013年度 埼玉県校友会活動予定

2013年度 役員名簿

	卒年学部 氏名	卒年学部 氏名	卒年学部 氏名
名誉顧問	1951 法学 丹羽尊照	1953 経済 曾田豊吉	1955 理工 太田八郎
顧問	1956 理工 岡島由雄	1957 経済 田中明	
相談役	1957 理工 松田浩章	1965 法学 西垣義明	
会長	1961 文学 常田幸正		
副会長	1960 経済 橋本豊英	1961 経済 三浦淳史	1966 法学 松岡直昭
幹事長	1981 経営 内野生朗		
副幹事長	1983 文学 上條比呂志	1988 産社 榎本哲郎	
監事	1963 法学 川添修司	1966 理工 橋本宗義	
常任幹事	1960 経済 山本孟人	1963 法学 永倉素子	1967 理工 金原政敏
	1967 法学 鹿野内直之	1968 文学 小玉秀生	1969 経済 梶島康夫
	1969 経営 鈴木泰男	1969 経営 緒方仁	1969 経営 豊岡雅範
	1970 理工 太田坦	1971 理工 木藪和彦	1971 理工 清水哲雄
	1974 経営 道脇久義	1977 産社 鈴木昌治	1980 理工 蓑崎裕人
	1987 理工 田中正三	1987 文学 伊佐由美子	1991 産社 岩切健
	2010 産社 加藤慎一	2010 産社 稲葉のぞみ	
幹事	1959 法学 新井勝	1959 理工 下野均	1960 理工 北川英雄
	1963 理工 上田勝	1971 文学 真部はるみ	1971 法学 横田高弘
	1975 経営 伊藤貞夫	1977 産社 大熊章一	1985 理工 多田浩之
	1990 文学 鐘田浩司	2003 経営 田本淳治	2011 経営 大倉淳
会計	1987 文学 伊佐由美子		

西

支部長	1971 理工 清水哲雄
副支部長	1980 理工 蓑崎裕人
構成市町村	朝霞市、入間市、ふじみ野市、川越市、坂戸市、狭山市、志木市、鶴ヶ島市、所沢市、新座市、飯能市、東松山市、日高市、富士見市、和光市、越生町、三芳町、毛呂山町、小川町、川島町、ときがわ町、滑川町、鳩山町、吉見町、嵐山町、秩父市、小鹿野町、長瀨町、東秩父町、皆野町、横瀬町

中央

支部長	1987 文学 伊佐由美子
副支部長	
構成市町村	川口市、戸田市、鳩ヶ谷市、蕨市、さいたま市、上尾市、伊那町、桶川市、加須市、北本市、行田市、熊谷市、鴻巣市、羽生市、深谷市、本庄市、江南町、寄居町、大栗根町、北川辺町、神川町、上里町、美里町

東

支部長	1969 経営 緒方仁
副支部長	1969 経営 豊岡雅範
構成市町村	春日部市、久喜市、越谷市、幸手市、草加市、蓮田市、三郷市、八潮市、吉川市、栗橋市、杉戸町、松伏町、鷲宮町、駒西町、葛蒲町、白岡町、宮代町

埼玉立命ユース

リーダー	2010 産社 加藤慎一	サブリーダー	2010 産社 稲葉のぞみ
------	--------------	--------	---------------

2012年度 埼玉県校友会活動報告

2012年

4月 7日	花見大会
4月 14日	第1回幹事会
6月 2日	歴史散歩
6月 16日	第2回幹事会（会誌「埼玉立命」完成・配布）
7月 21日	ボウリング大会
8月 26日	ボート全日本大学選手権（インカレ）応援 第3回幹事会 ボート部激励会
9月 15日	第4回幹事会
10月 6日	オール立命館校友会大会2012in新潟（朱鷺メッセ） 彩の国・立命校友の集い
10月 20日	第3回ゴルフ大会（日光カンツリー倶楽部）
11月 10日	第5回幹事会
11月 11日	そば打ち教室

2013年

1月 26日	新年会・第6回幹事会
2月 16日	酒蔵見学（清龍酒造）
3月 2日	第7回幹事会

2013年度 埼玉県校友会活動予定

3月 30日	春のゴルフ大会（東松山カントリークラブ）
4月 7日	花見大会（雨天中止）
4月 21日	第1回幹事会
6月 8日	春の歴史散歩（秋に延期）
6月 22日	第2回幹事会
7月 20日	ボウリング大会
8月 25日	ボート全日本大学選手権（インカレ）応援 ボート部激励会
9月 7日	第3回幹事会（会誌「埼玉立命」完成・配布）
9月 28日	秋の歴史散歩
10月 19日	秋のゴルフ大会
11月 2日	第4回幹事会
11月 9日	彩の国・立命校友の集い
12月	そば打ち体験会
1月 25日	新年会・第5回幹事会
3月 1日	第6回幹事会 酒蔵見学

緒方 仁
(1969 経営)

清水 哲雄
(1971 理工)

公認会計士
鈴木 昌治
(1977 経営)
有限責任監査法人トーマツ パートナー

蓑崎 裕人
(1980 理工・機械)

2012年度収支報告書および2013年度収支予算書（案）
(2012年4月1日～2013年3月31日) (2013年4月1日～2014年3月31日)

(収入の部)				(支出の部)			
	2012予算額	2012実績額	2013予算(案)		2012予算額	2012実績額	2013予算(案)
年会費収入	201,000	183,000	240,000	定期総会費用	30,000	43,166	450,000
定期総会・会費収入	0	0	300,000	印刷・通信費	350,000	352,861	300,000
寄付金収入（支援金含む）	350,000	342,000	400,000	慶弔費・交際費	120,000	62,940	120,000
広告収入	180,000	130,000	130,000	幹事会費	10,000	28,860	10,000
雑収入	0	6,373	0	支部・イベント活動支援費	200,000	60,000	190,000
			0	雑支出	20,000	210	0
小計	731,000	661,373	1,070,000	小計	730,000	548,037	1,070,000
前期繰越金（現預金）	544,796	544,796	658,132	次期繰越金（現預金）	545,796	658,132	658,132
合計	1,275,796	1,206,169	1,728,132	合計	1,275,796	1,206,169	1,728,132

内野 生朗
(1981 経営)

北野建設株式会社
東京本社 営業部
上條 比呂志
(1983 文)

伊佐 由美子
(1987 文)

エクセルアート株式会社
榎本 哲郎
(1988 産社)

→ 埼玉県校友会年会費・支援金用払込用紙です。

払 込 取 扱 票

02	東京	通常払込料金加入者負担																			
口座記号番号																					
0	0	1	2	0	7	1	5	7	9	3	6	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
加入者名	立命館大学 埼玉県校友会										料金	備考									
通信欄	※ お振込金の内訳 年会費 3,000円 支援金 1,000円 × _____ 口 合計 _____ 円 昭平 年 学部 卒 専門 科 退											※ おとところ (郵便番号) ※ おなまえ (電話番号) - -									
ご依頼人	おとところ (郵便番号) ※ おなまえ										日	様 附 印									

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第 52187 号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	2	0	7	通常払込料金加入者負担	
加入者名	立命館大学埼玉県校友会							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ ※							
料金	日 附 印							
備考								

この受領証は、大切に保管してください。

切り取らないで出してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

2012年度 校友会支援金 出資者名簿

●100,000円 常田幸正 ●10,000円 小玉秀生、橋本豊英 ●7,000円 永倉素子 ●5,000円 上田勝、松岡直昭、菘崎裕人 ●4,000円 黒川賢一 ●3,000円 伊藤貞夫 ●2,000円 伊佐由美子、岩切健、内野生朗、榎本哲郎、岡島由雄、鬼木義明、小野塚政一、鐘田浩士、金丸一朗、上條比呂志、小玉秀生、清水貞雄、鈴木昌治、多田利男、谷澤正巳、丹羽尊照、中尾明久、成田典昭、長谷川勇、松尾直、三浦淳史、水野玄規 ●1,000円 大西弘和、緒方仁、川崎秀磨、川添修司、上林山秀孝、作田英行、嶋村卓、下野均、高部重雄、竹内令、谷口和之、中牟田雅、松本良、八代裕昭、横田高弘、若杉秀雄 (敬称略)

2012年度 校友会年会費 納入者名簿

荒谷俊文、伊佐由美子、伊藤貞夫、岩切健、上田勝、上原哲也、内野生朗、榎本哲郎、大坪照長、大西弘和、岡島由雄、岡田寛、緒方仁、鬼木義明、小野塚政一、金井義介、鐘田浩士、金丸一朗、鹿野内直之、上條比呂志、川崎秀磨、川添修司、上林山秀孝、木藪和彦、黒川賢一 (2011年分)、黒川賢一 (2012年分)、小玉秀生、作田英行、佐藤悟朗、佐野拓都、嶋村卓、清水貞雄、清水優、下野均、鈴木昌治、鈴木泰男、高部重雄、竹内令、多田利男、谷口和之、丹羽尊照、常田幸正、道休広和、豊岡雅範、中尾明久、永倉素子、中牟田雅、成田典昭、橋本豊英、橋本宗義、長谷川勇、古川欣司、松尾直、松岡直昭、松本良、三浦淳史、水野玄規、菘

崎裕人、谷澤正巳、八代裕昭、山田房江 (2011年分)、山田房江 (2012年分)、横田高弘、若杉秀雄 (敬称略、五十音順)

年会費・支援金の納入にご協力をお願いします。

- 年会費 **3,000円**
- 支援金 1口 **1,000円**
(何口でも結構です)

埼玉校友会誌「埼玉立命」の発行費用、ホームページの運営費、総会案内等の同封発送費等は皆様からの年会費・支援金によって支えられています。今後の校友会活動を継続させていくためにも、年会費納入による積極的なご支援をお願い致します。

埼玉県校友会・会長 常田 幸正

「活動報告」「参加申し込み」などの詳細は埼玉立命のHPに出ています。ぜひご覧ください。

埼玉立命

検索

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこと、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

通 信 欄

インターネットからでも振込できます。

- ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方で、かつゆうちょダイレクトの契約をされている方。
→オモテ面に記載の口座番号あてにお振込みください。
- 他の銀行 (インターネット含) からお振込みされる場合
→以下の口座番号あてにお振込みください。

ゆうちょ銀行 ○一九店 (ゼロイチキューウ店) 店番: 019
預金種目: 当座 口座番号: 0157936
口座名: 立命館大学埼玉県校友会

※この用紙を使わずに上記の方法でお振込みされる場合は、必ず氏名の後に卒業年と学部をご記入ください。

← 埼玉県校友会年会費・支援金用振込用紙です。総会・懇親会の会費は当日会場にてお支払いをお願い申し上げます。

収入印紙

3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。